

CASBEE-建築(新築)2014年版
(仮称)地行マンション

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版
■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.3.0)

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								3.2
Q1 室内環境			0.40		-			3.9
1 音環境		3.0	0.15	3.2	1.00			3.1
1.1 騒音	目標値	3.0	0.50	3.0	0.50			
1.2 遮音		3.0	0.50	3.4	0.50			
1 開口部遮音性能	T-1 サッシを使用	3.0	1.00	3.0	0.30			
2 界壁遮音性能	Dr-45	3.0	-	3.0	0.30			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)	置き床材遮音等級LL-45を使用	3.0	-	4.0	0.20			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)	置き床材遮音等級LH-50を使用	3.0	-	4.0	0.20			
1.3 吸音		3.0	-	3.0	-			
2 温熱環境		1.3	0.35	5.0	1.00			4.3
2.1 室温制御		1.7	0.50	5.0	1.00			
1 室温		1.0	0.63	-	-			
2 外皮性能	「5-1断熱等性能等級」における等級4を満たす	3.0	0.38	5.0	1.00			
3 ゾーン別制御性		3.0	-	-	-			
2.2 湿度制御		1.0	0.20	-	-			
2.3 空調方式		1.0	0.30	-	-			
3 光・視環境		2.7	0.25	3.7	1.00			3.5
3.1 屋光利用		4.2	0.30	4.0	0.35			
1 屋光率	共用部:10.30%、住居部:4.01%	5.0	0.60	5.0	0.50			
2 方位別開口	南面に窓がある	-	-	3.0	0.30			
3 屋光利用設備	屋光利用設備なし	3.0	0.40	3.0	0.20			
3.2 グレア対策		1.0	0.30	4.0	0.35			
1 屋光制御	住居部:庇及びカーテンにより制御	1.0	1.00	4.0	1.00			
3.3 照度	共用部:100lx	3.0	0.15	-	-			
3.4 照明制御	制御盤及び照明器具で調整	3.0	0.25	3.0	0.29			
4 空気環境		4.2	0.25	4.5	1.00			4.4
4.1 発生源対策		5.0	0.60	5.0	0.63			
1 化学汚染物質	F☆☆☆☆以上の建材をほぼ全面的に使用	5.0	1.00	5.0	1.00			
2 アスベスト対策		-	-	-	-			
4.2 換気		3.0	0.40	3.6	0.38			
1 換気量	建築基準法及び建築物衛生法を満たす換気量	3.0	0.50	3.0	0.33			
2 自然換気性能	住居部:床面積の1/6以上の開閉可能な窓あり	3.0	-	5.0	0.33			
3 取り入れ外気への配慮	空気取り入れ口は汚染源のない方向に設けられている	3.0	0.50	3.0	0.33			
4.3 運用管理		-	-	-	-			
1 CO ₂ の監視		3.0	-	-	-			
2 喫煙の制御		3.0	-	-	-			
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-			3.6
1 機能性		3.8	0.40	4.2	1.00			4.1
1.1 機能性・使いやすさ		4.0	0.40	5.0	0.60			
1 広さ・収納性		3.0	-	3.0	-			
2 高度情報通信設備対応	住居の各居室にGbit対応配管済	4.0	-	5.0	1.00			
3 バリアフリー計画	バリアフリー新法を満たしている	4.0	1.00	-	-			
1.2 心理性・快適性		3.0	0.30	3.0	0.40			
1 広さ感・景観	住居部:天井高=2.4m	3.0	-	3.0	0.50			
2 リフレッシュスペース		3.0	-	-	-			
3 内装計画	評価する取り組みが2項目	3.0	1.00	3.0	0.50			
1.3 維持管理		4.5	0.30	-	-			
1 維持管理に配慮した設計	評価する取り組みが7項目	4.0	0.50	-	-			
2 維持管理用機能の確保	評価する取り組みが10項目	5.0	0.50	-	-			
3 衛生管理業務		-	-	-	-			
2 耐用性・信頼性		3.1	0.30	-	-			3.1
2.1 耐震・免震		3.0	0.50	-	-			
1 耐震性	建築基準法に定められた耐震性を有する	3.0	0.80	-	-			
2 免震・制振性能	免振・制振装置を導入していない	3.0	0.20	-	-			
2.2 部品・部材の耐用年数		3.5	0.30	-	-			
1 躯体材料の耐用年数	品確法の劣化対策等級3	5.0	0.20	-	-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.20	-	-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		2.0	0.10	-	-			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	ほぼ全てに亜鉛鉄板を使用	3.0	0.10	-	-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給排水に硬質演歌ビニール管を使用	5.0	0.20	-	-			
6 主要設備機器の更新必要間隔	更新必要間隔15年	3.0	0.20	-	-			

2.4 信頼性			2.8	0.20	-	-	-
1	空調・換気設備	中央式空調換気設備をもたない	3.0	0.20	-	-	-
2	給排水・衛生設備		2.0	0.20	-	-	-
3	電気設備	評価する取り組みが1項目	3.0	0.20	-	-	-
4	機械・配管支持方法	耐震クラスB	3.0	0.20	-	-	-
5	通信・情報設備	評価する取り組みが2項目	3.0	0.20	-	-	-
3 対応性・更新性			3.6	0.30	3.4	1.00	3.4
3.1 空間のゆとり			-	-	3.8	0.50	-
1	階高のゆとり	階高=3.11m	3.0	-	5.0	0.60	-
2	空間の形状・自由さ		3.0	-	2.0	0.40	-
3.2 荷重のゆとり		居室の積載荷重=1,800N/㎡	3.0	-	3.0	0.50	-
3.3 設備の更新性			3.6	1.00	-	-	-
1	空調配管の更新性	構造部材を痛めることなく更新できる	3.0	0.20	-	-	-
2	給排水管の更新性	構造部材を痛めることなく更新できる	4.0	0.20	-	-	-
3	電気配線の更新性	構造部材だけでなく、仕上げ材を痛めることなく電気配線の更新・修繕	5.0	0.10	-	-	-
4	通信配線の更新性	仕上げ材を痛めることなく通信配線の更新・修繕ができる	5.0	0.10	-	-	-
5	設備機器の更新性	更新ルートはあるが更新時に維持不能	3.0	0.20	-	-	-
6	バックアップスペースの確保	バックアップスペースが確保されていない	3.0	0.20	-	-	-
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	1.8
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮			2.0	0.40	-	-	2.0
3 地域性・アメニティへの配慮			1.5	0.30	-	-	1.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			1.0	0.50	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上			2.0	0.50	-	-	-
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.7
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	4.4
1 建物外皮の熱負荷抑制		「5-1断熱等性能等級」における等級4に相当	5.0	0.20	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用		住居部の全てが外皮2面に面している	3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化		BEIm 非住宅 1.00 住宅(専有部) 0.79	5.0	0.50	-	-	5.0
集合住宅以外の評価(3a.3b)			3.0	-	-	-	-
集合住宅の評価(3c)			5.0	1.00	-	-	-
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価			-	-	-	-	-
4.1 モニタリング			3.0	-	-	-	-
4.2 運用管理体制			3.0	-	-	-	-
集合住宅の評価			3.0	1.00	-	-	-
4.1 モニタリング		取り組みなし	3.0	0.50	-	-	-
4.2 運用管理体制		設備毎の取扱説明書が居住者に手渡されている	3.0	0.50	-	-	-
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.0
1 水資源保護			3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水			4.0	0.40	-	-	-
節水コマ及び節水型便器を使用			4.0	0.40	-	-	-
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	-
1 雨水利用システム導入の有無		雨水利用の仕組みなし	3.0	0.70	-	-	-
2 雑排水等利用システム導入の有無		雑排水利用の仕組みなし	3.0	0.30	-	-	-
2 非再生性資源の使用量削減			2.8	0.60	-	-	2.8
2.1 材料使用量の削減			3.0	0.10	-	-	-
2.2 既存建築躯体等の継続使用		既存の建築躯体を再利用していない	3.0	0.20	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.20	-	-	-
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		-	1.0	0.20	-	-	-
2.5 持続可能な森林から産出された木材		持続可能な森林から産出された木材を使用しているが、使用比率	3.0	0.10	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取り組み		評価する取り組みが1ポイント	4.0	0.20	-	-	-
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.6	0.20	-	-	3.6
3.1 有害物質を含まない材料の使用		評価する取り組みが4項目	5.0	0.30	-	-	-
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70	-	-	-
1 消火剤			-	-	-	-	-
2 発泡剤(断熱材等)		ODP=0.01未満の発泡剤を用いた断熱材等を使用している	3.0	0.50	-	-	-
3 冷媒		ODP=0の冷媒を使用している	3.0	0.50	-	-	-
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.5
1 地球温暖化への配慮		換算スコア4.1	4.1	0.33	-	-	4.1
2 地域環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
2.1 大気汚染防止		燃焼機器を使用していない	5.0	0.25	-	-	-
2.2 温熱環境悪化の改善			2.0	0.50	-	-	-
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.3	0.25	-	-	-
1 雨水排水負荷低減			-	-	-	-	-
2 汚水処理負荷抑制		基準を満たしている	3.0	0.33	-	-	-
3 交通負荷抑制		評価する取り組みが3ポイント	4.0	0.33	-	-	-
4 廃棄物処理負荷抑制		評価する取り組みが3ポイント	3.0	0.33	-	-	-
3 周辺環境への配慮			3.4	0.33	-	-	3.4
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			-	-	-	-	-
1 騒音			-	-	-	-	-
2 振動			-	-	-	-	-
3 悪臭			-	-	-	-	-
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.67	-	-	-
1 風害の抑制		自主的な対策を評価しない	3.0	0.70	-	-	-
2 砂塵の抑制			3.0	-	-	-	-
3 日照阻害の抑制		日影規制を満たしている	3.0	0.30	-	-	-
3.3 光害の抑制			4.4	0.33	-	-	-
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		評価する取り組みが4ポイント	5.0	0.70	-	-	-
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		グレアについて影響なし	3.0	0.30	-	-	-